

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成28年9月15日 (2016.9.15)

【公開番号】特開2014-182578(P2014-182578A)

【公開日】平成26年9月29日 (2014.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2014-053

【出願番号】特願2013-56542(P2013-56542)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/20 (2012.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

G 0 6 Q 30/02 (2012.01)

【F I】

G 0 6 Q 50/20

G 0 6 F 17/30 3 4 0 A

G 0 6 F 13/00 5 4 0 E

G 0 6 Q 30/02 1 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月27日 (2016.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザ毎に、読書速度と、借りた本毎に本を貸出期間内に読了したか否かを表すデータとを格納するデータ格納部から、第 1 のユーザの第 1 の読書速度を読み出し、

前記データ格納部から、前記第 1 のユーザの前記第 1 の読書速度から所定範囲内の読書速度が格納されており且つ特定の本を借りた他のユーザを抽出し、

抽出された前記他のユーザのうち読了したユーザがいる場合に、前記特定の本の情報を前記第 1 のユーザが利用する装置に出力する

処理を、コンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 2】

前記データ格納部が、ユーザ毎に、第 1 の読書頻度と、単位時間あたりの第 1 の読書量に関するデータと、借りた本毎に当該本についての第 2 の読書頻度及び前記単位時間あたりの第 2 の読書量に関するデータとをさらに格納しており、

抽出された前記他のユーザのうち読了したユーザを前記第 2 の読書頻度で分類し、読了したユーザについての第 1 の分類毎に前記第 2 の読書量の第 1 の範囲を特定し、

前記第 1 のユーザの第 1 の読書頻度に対応する第 1 の分類を特定し、

前記第 1 のユーザの第 1 の読書量が、特定された前記第 1 の分類についての第 1 の範囲の最小値以上となっているか否かを判定し、

当該判定結果に応じた第 2 のデータを、前記第 1 のユーザが利用する装置に出力する

処理を、さらに前記コンピュータに実行させるための請求項 1 記載のプログラム。

【請求項 3】

抽出された前記他のユーザのうち読了しなかったユーザを前記第 2 の読書頻度で分類し、読了しなかったユーザについての第 2 の分類毎に前記第 2 の読書量の第 2 の範囲を特定し、

前記第 1 のユーザの読書量が、特定された前記第 1 の分類についての第 1 の範囲の最小値未満であれば、特定された前記第 1 の分類に対応する第 2 の分類についての第 2 の範囲の最大値を超えているか判定する第 2 の判定処理をさらに前記コンピュータに実行させ、前記判定結果が、前記第 2 の判定処理の結果を含む、請求項 2 記載のプログラム。

【請求項 4】

前記第 1 の分類及び前記第 1 の分類の各々について特定された前記第 1 の範囲と、前記第 2 の分類及び前記第 2 の分類の各々について特定された前記第 2 の範囲と、前記第 1 のユーザの第 1 の読書頻度及び第 1 の読書量に対応する前記第 1 の分類又は第 2 の分類及び前記第 1 の範囲又は第 2 の範囲を識別するためのデータとを含む第 3 のデータを、前記第 1 のユーザが利用する装置に出力する処理

をさらに前記コンピュータに実行させるための請求項 3 記載のプログラム。

【請求項 5】

ユーザ毎に、読書速度と、借りた本毎に本を貸出期間内に読了したか否かを表すデータとを格納するデータ格納部から、第 1 のユーザの第 1 の読書速度を読み出し、

前記データ格納部から、前記第 1 のユーザの前記第 1 の読書速度から所定範囲内の読書速度が格納されており且つ特定の本を借りた他のユーザを抽出し、

抽出された前記他のユーザのうち読了したユーザがいる場合に、前記特定の本の情報を前記第 1 のユーザが利用する装置に出力する

処理を含み、コンピュータにより実行される情報処理方法。

【請求項 6】

ユーザ毎に、読書速度と、借りた本毎に本を貸出期間内に読了したか否かを表すデータとを格納するデータ格納部から、第 1 のユーザの第 1 の読書速度を読み出し、前記データ格納部から、前記第 1 のユーザの前記第 1 の読書速度から所定範囲内の読書速度が格納されており且つ特定の本を借りた他のユーザを抽出する第 1 の処理部と、

抽出された前記他のユーザのうち読了したユーザがいる場合に、前記特定の本の情報を前記第 1 のユーザが利用する装置に出力する第 2 の処理部と、

を有する情報処理装置。

【請求項 7】

本の指定を受け付け、

本の読者を該本に対応付けて記憶する記憶部を参照して、指定された前記本に対応付けられた読者を特定し、

本の読書状況に関する読書情報を、該本の読者に対応付けて記憶する記憶部を参照して、特定した前記読者に対応付けられた読書情報を取得し、

取得した前記読書情報を表示する、

処理をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 8】

指定された前記本を読了した読者に関する前記本の読書情報を出力する、

ことを特徴とする請求項 7 に記載のプログラム。

【請求項 9】

前記読書情報は、前記本の読書スピードに関する情報である、

ことを特徴とする請求項 7 又は 8 に記載のプログラム。

【請求項 10】

前記本は電子本である、

ことを特徴とする請求項 7 乃至 9 のいずれか 1 つに記載のプログラム。

【請求項 11】

本の指定を受け付け、

本の読者を該本に対応付けて記憶する記憶部を参照して、指定された前記本に対応付けられた読者を特定し、

本の読書状況に関する読書情報を、該本の読者に対応付けて記憶する記憶部を参照して、特定した前記読者に対応付けられた読書情報を取得し、

取得した前記読書情報を表示する、  
処理をコンピュータが実行する情報処理方法。

【請求項 12】

本の指定を受け付ける第 1 の処理部と、  
本の読者を該本に対応付けて記憶する記憶部を参照して、指定された前記本に対応付け  
られた読者を特定する第 2 の処理部と、  
本の読書状況に関する読書情報を、該本の読者に対応付けて記憶する記憶部を参照して  
、特定した前記読者に対応付けられた読書情報を取得する第 3 の処理部と、  
取得した前記読書情報を表示する第 4 の処理部と、  
を有する情報処理装置。